

令和7年度社会福祉法人桜丘会 事業報告書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月 31日

- ・ 法人本部
- ・ 介護老人保健施設桜の園
- ・ 桜の園通所リハビリテーション
- ・ 特別養護老人ホーム八橋
- ・ グループホームさくら
- ・ 小規模多機能型居宅介護幸の家
- ・ 訪問看護ステーション幸
- ・ 桜の園居宅介護支援事業所
- ・ 広面地域包括支援センター桜の園
- ・ 中通地域包括支援センター幸ザ・サロン

令和7年度社会福祉法人 桜丘会事業報告書

1. 総括

令和7年度は、桜丘会の評議員・理事・監事及び評議員選任解任委員の任期満了に伴う改選年で、評議員は2名の退任者がおり新たに2名が選任された。理事も2名(理事長・老健施設長)が退任され、新任理事が2名評議員会で選任された。

理事長は、事務局長が兼務をすることで理事会に於いて決定された。

老健施設長は、数年前施設でコロナクラスターが発生した折、ACOMATの統括として施設に来園されご指導いただき、話しやすいお人柄のドクターであることは職員も承知で、喜びと緊張でお迎えをした。

前年の介護報酬改定ではプラス1.59%の改定率だったが、昨今の物価高は歯止めがきかずとてもそれでは補えない決算の結果となった。

当法人の今年度の事業活動収入は、1,264,383千円。対前年度では12,369千円の増収となっている。内訳は特養八橋以外の事業所は増収となっているが、特養八橋は開設以来の落ち込みを見せた。11月後半から入所者が入院等で減少していき、3月末まで入所者数を回復させることはできなかった。

一方で、通所リハビリが15,400千円の増収と数字を伸ばしている。それは、近隣の通所リハビリが事業を廃止したり定員を減少させており、当通所リハビリのように療法士の人員とりハビリ機器の充実を図っている所は減少してきているため、新規利用者の増加と増収に繋がっていると思われる。

支出関係では、老健桜の園が築36年となり修繕費が掛かり増しになったことや入所者の床頭台の買い替えと、給食や清掃等の業務委託費の値上げ、人件費の増額で、29,939,443円のマイナス決算となった。昨年に続き2年連続のマイナス決算は桜丘会開設以来初めてのことである。しっかりと原因を追究し、経費の無駄を省くこととサービスの対価としての収入の増額をめざし職員とともに行動を起こしていかなければならないと考える。

外国人技能実習生は、ミャンマー国の4人とベトナムの特定技能実習生2人と介護福祉士に合格して正職員となったベトナム国の1人が今年度の在籍者である。共に評判がよく問題なく業務をこなして現場での戦力となっている。ベトナムからの実習生2人は、桜の園に来てから早7年が過ぎ、2人とも結婚をして子どもができ1人が1年の育休中で育休が明ける頃入れ替わりに1人が産休に入る予定である。ベトナムの特定技能1人も介護福祉士に合格したが、一旦退職をして母国へ帰る予定となっている。ミャンマーの介護職希望の方々とzoomで面接を行い2人の採用を決め、令和8年8月頃に入国する予定である。

人口減少による人手不足解消のための外国人技能実習生の採用を随分と折に触れ聞いてきたように思うが、近頃は人手不足にはAIテクノロジーの導入が叫ばれるようになってきたと思う。7年度は法人内施設でもAIテクノロジーの導入のための生産性向上委員会を開催し、何を導入したらよいかの検討を重ねてきていて、それが8年度の処遇改善加算の要件に含まれるということで国の本気度が見えてきたように思う。今後は精度の高いテクノロジーを吟味して、積極的な導入をしていくべきであろう。

研修関係においては、介護職員向けのeラーニングを今年度も実施している。パソ

コンやタブレットでいつでも研修が受けられ、一つの単元が短時間で次から次へと進んでいくので、飽きずに学べると評判が良く、各事業所の管理者が自ら介護職員の苦手とする分野を強化するため、カリキュラムを自由に計画できる利点もあるので、今後も継続していきたい。

また、コンサルタントによる人事評価制度の再構築の研修を、特養八橋に於いて継続をしている。これは、介護職員等処遇改善手当にも関連しているので、続けて受講していきたい。

全事業所の職員から選出している接遇委員による接遇委員会は、職員が主体となって開催しており、接客態度・挨拶・言葉使い等、安心・安全な環境と良いケアの提供に結びつくよう、今後も更に活発に活動していくこととしたい。

最後に、令和5年5月より秋田駅前のクロッセビルのテナント2階に於いて、桜丘会の専門職員が地域貢献活動の一環として、月曜日から金曜日の平日午前10時より12時まで、介護相談・栄養相談・リハビリ等に交替で取り組んでいる。

社会福祉法人として、地域貢献に積極的に取り組み、地域に根差し永きに発展し続ける桜丘会を目指していきたい。

2. 全国社会福祉法人経営者協議会の「アクションプラン2025」の行動指針14項目の実践を目指す

- (1) 経営者としての役割
- (2) 組織統治（ガバナンス）の強化
- (3) 健全で安定的な財務基盤の確立
- (4) コンプライアンス（法令等遵守）の徹底
- (5) 人権の尊重
- (6) 包括的支援の充実・展開
- (7) サービスの質の向上
- (8) 安心・安全の環境整備
- (9) 地域共生社会の推進
- (10) 信頼と協力を得るための積極的なPR
- (11) 中長期的な人材戦略の構築
- (12) 人材の採用に向けた取組の強化
- (13) 人材の定着に向けた取組の強化
- (14) 人材の育成に向けた取組の強化

3. 重点目標

令和7年度法人目標

『ご利用者一人ひとりの個性と価値観を尊重し

温かな福祉サービスを提供します』

4. 理事会・評議員会の開催

令和7年4月25日 特別養護老人ホーム八橋の賃借土地購入理事会

令和7年6月4日 事業報告・会計決算定時理事会

令和7年6月12日 緊急書面理事会

令和7年6月20日	事業報告・会計決算定時評議員会
令和7年6月20日	理事長の選定理事会
令和7年7月31日	特別養護老人ホーム八橋の土地購入顛末理事会
令和7年8月8日	秋田市へ基本財産担保提供承認臨時評議員会
令和7年9月25日	定款変更理事会
令和7年10月7日	定款変更臨時評議員会
令和7年10月28日	定款細則の変更・業務執行状況定時理事会
令和8年3月24日	事業計画・会計予算定時理事会

5. 監事監査の実施状況

令和7年5月26日(月) 13時30分より桜の園会議室にて実施

令和7年度事業報告書

介護老人保健施設 桜の園

1. 総括

令和7年度は、4月に鈴木施設長をお迎えし、6月には小川事務局長が理事長に就任され(事務局長兼務)、新たな体制の中、在宅復帰超強化型の維持や協力病院との医療連携体制の構築を進め、委員会や研修・訓練等についても多職種連携により施設全体で取り組むことが出来た一年となった。

8月中旬から月末にかけては、施設内に於いてコロナクラスターが発生し、入所者34名、職員7名の陽性者が発生した。以前のクラスターでは、収束までにひと月以上を要していたが、これまでの経験を活かした迅速な初動対応及び的確な対策が行われ、半月という短期間で収束を迎えることが出来た。

また、外部ボランティアを招いての誕生会の開催やご家族の面会について、感染対策を軸としつつ、ご利用者の安全と充実した生活の在り方を模索した一年となった。

例に漏れず施設周辺地域にて熊の出没が相次ぎ、警戒及び対策を行うなど環境変化への対応に苦慮した年でもあった。

(1) 在宅復帰支援

令和7年度も、通年で超強化型を維持出来た。在宅復帰率も64.02%と昨年より0.08%アップしており、介護老人保健施設としての役割を果たすことが出来たと感じている。また、協力医療機関との毎月の会議による積極的な情報共有により、自立・重度化防止に向けた支援を行うと共に、介護支援専門員との連携により、在宅復帰後のスムーズな介護サービス利用に繋げるよう取り組んだ。

(2) 保健衛生と感染症対策

クラスター発生時も感染対策マニュアルに沿ったスムーズな対応が行え、混乱なく業務を進めることが出来た。換気や消毒等感染症予防に対する意識も定着し、多職種連携による状態変化・情報の共有を密に行うなど、ご利用者の健康状態把握に努めた。

(3) 在宅生活に対応したリハビリテーションの提供

毎月のADL等の評価・計画見直し等を行うと共に、専門職としての視点を持ち、多様化する利用者やご家族の要望を踏まえ、在宅復帰や次の生活の場に向けた一人ひとりに適したリハビリテーションを行うことが出来た。

(4) 入所率の増加

協力医療機関・関係各所との情報交換や連携に努め、平均稼働率95.40%を達成することが出来た。

(5) 療養食の提供

嗜好の多様化による個々のニーズに対応しつつ、栄養状態を常に把握し、栄養管理に努めた。低栄養状態の利用者に対しミールラウンドを週3回行うなど適切な栄養管理・支援を行った。

(6) 職員の教育・スキルアップ

新採用職員に対する研修、認知症対応・接遇・感染症対策・事故や虐待防止等の研修を行い、職務意識の向上が感じられるようになった。外国人技能実習生・中途採用者にも高いレベルの介護技術を提供するため、人事考課用に作成した業務標準書をベースに、介護技術の基準の再確認と伝達を行った。

(7) 地域に根ざした施設

大平台お茶っこサロンや桜台クラブをはじめ、地域貢献活動に取り組んだことにより、数多くの活動が生まれた。家族と市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを行った。

2. 入所者

定員	100名
年間入所者延べ数	34,811名

3. 利用日・利用時間

365日・24時間サービス提供

4. 職員体制・勤務体制等

【職員体制】

施設長（医師）	1名
看護師	11名
介護員	36名
作業療法士	5名
理学療法士	1名
支援相談員	3名
管理栄養士	2名
介護支援専門員	1名

【勤務体制】

日勤	午前 8：30	～	午後 5：30
夜勤	午後 5：00	～	午前 9：00
早番	午前 6：30	～	午後 3：30
準早番	午前 7：00	～	午後 4：00
遅番	午前 10：00	～	午後 7：00

5. 年間行事

別紙のとおり

6. その他（建物改修、設備、備品等購入等）

電子カルテカート	107,800 円
OT 室 PC	256,190 円
暖房専用ボイラー交換取付工事	487,740 円
厨房用給湯器取替工事	148,500 円
事務局 PC	341,000 円

令和7年度年間行事等実施報告書

介護老人保健施設 桜の園

項目 月	行 事		職員研修・勉強会等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	年 間 行 事	日	月 間 行 事	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	21 23	ドライブツアー ドライブツアー	2 14	不在者投票 誕生会		各委員会目標提出 各委員会話し合い				
5月			17 24	誕生会 咲乃めぐみ様コンサ ート	19 20 28	身体拘束防止内部 研修会 各委員会話し合い		30 BCP(感染)研修	13 ~ 15	日赤看護実習
6月	4 11 18	ドライブツアー ドライブツアー ドライブツアー	23	誕生会	2 9 23 17 20 27	AED講習会 虐待防止内部研修 各委員会話し合い		職員健康診断	10 ~ 12	日赤看護実習
7月	2 14	日赤でかだろ 夏祭り	7 28	誕生会 ネパールダンス			9 消防訓練 9 BCP(災害)訓練	5 感染対策内部研修 6 7	24 25 15 16	日赤看護実習 東北福祉看護実 習
8月	4	竿灯来園		誕生会(コロナのた め中止)		各委員会話し合い				
9月		敬老会(コロナのた め延期)	19 24	さくらカフェ 誕生会	22 29 25 26	AED講習会 城東消防署研修 事故対策内部研修 各委員会話し合い		3 歯科勉強会 利用者健康診断(コ ロナのため延期)	8~ 11、 16 ~ 18 30	秋大看護実習 日赤看護実習

10月	6 8 17	敬老会 ドライブツアー ドライブツアー	20	誕生会	26	腰痛対策内部研修 各委員会話し合い	27 27	消防訓練 BCP(災害)訓練	23 24 28 29	利用者健康診断 利用者インフルエンザ予防接種 感染症予防強化月	2	日赤看護実習
11月	17	きりたんぼ会	1 10 28	ハロウィン仮装 誕生会 さくらカフェ		各委員会話し合い	17 17	消防訓練 BCP(災害)訓練	4 ~ 14 18 ~ 19	職員インフルエンザ予防接種 利用者コロナワクチン予防接種 感染症予防強化月		
12月	8 26	忘年会 餅つき	15 25	誕生会 クリスマス会	12 18	身体拘束防止内部研修 各委員会話し合い			15	職員健康診断 感染対策研修(循脳センター認定看護師)		
1月	11	梵天訪問	2 15	さくらカフェ 誕生会		各委員会話し合い						
2月	3	節分行事	3	誕生会	5 16 17 20	虐待防止内部研修 事故対策内部研修 各委員会話し合い						
3月			2	誕生会	23 25	事故対策内部研修 各委員会話し合い						

令和7年度事業報告書

桜の園通所リハビリテーション

1. 総括

令和7年度は前年度大きく落ち込んでいた稼働率が回復し、年間稼働率は82.4%（前年度73.7%）で高稼働値にて終了することが出来た。新規ご利用者数も50件と目標通りであった。その年によりご利用者の心身状況や環境が異なることは在宅生活ではあり得る事で、その状況を理解し支えつつ、いつでも新規ご利用者を受け入れられるよう準備していきたいと考える。

4月からは施設長が交代し鈴木明文医師が着任された。前年までと同様に、通所リハビリテーション（以下「通所リハビリ」という）の全ご利用者のリハビリ会議に出席いただき、滞りなくリハビリマネジメント（加算4）を維持することができた。来年度実施の介護報酬改定でも、通所リハビリにおける医師の関わりは変わらないポイントと思われる。

ケア面では、入浴ケアにおいて浴室のボイラー不調や、温泉管理でご利用者にご不便をおかけした。今後も浴室環境については計画的に対策を講じ、安心安全に入浴できるように努めていきたい。

リハビリ面では医師と療法士によるリハビリマネジメント（リハビリ会議）を実施、また個別リハビリやマシントレーニング、レッドコードを用いたのプログラムを遂行し、ご利用者の心身機能維持・向上に努めた。

通所リハビリの年間目標は『「今日は楽しかった！」と笑顔と充実感を持って帰宅されるようご利用者・ご家族の皆様に対して職員一同まごころを持ち支援します』を掲げ、年度後半からは1カ月の接遇目標も決めて各個人がホスピタリティ意識を高めることに努め、今現在も継続している。ご利用者のほとんどが「楽しかった」と帰宅される。ご利用者の「その人らしさ」「尊厳」を守りながら生活を支えていけるように、マナーと仕事に取り組むことなく次年度もより良い職場を作り、安心してご利用できる環境を作っていきたいと考える。

2. 利用者定員

1日定員	40名
年間利用者延べ数	10,192名（大規模型 通所リハビリテーション）
1日平均利用者数	32.9名

3. 営業時間

月曜日～土曜日 8:30～16:30（7時間以上8時間未満）
（休日：毎週日曜日、年末年始の12月31日～1月3日）

4. 職員体制・勤務体制等

【職員体制】

医師（管理者・老健兼務）	1名
看護師	1名

作業療法士	3名
理学療法士	1名
介護員	11名
管理栄養士（老健兼務）	2名
【勤務体制】	
日 勤	7：45 ～ 16：45

5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、予定
別紙のとおり

6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）
洗身車2台購入 638,000円

令和7年度年間行事等実施報告書

桜の園 通所リハビリテーション

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他					
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容				
4月		ドライブツアー	25日	外出訓練（桜ドライブ） お楽しみランチ	15日	リハビリテーション会議 感染対策委員								
5月		ドライブツアー	26日	外出訓練（つつじドライブ） お楽しみランチ										
6月			26日	外出訓練（つつじドライブ） お楽しみランチ		14. 28. 29日 虐待防止委員会								
7月	16日	夏祭り ドライブツアー	16日	外出訓練（千秋公園ドライブ） お楽しみランチ	31日	スタッフ会議	8日							
8月		ドライブツアー	24日	お楽しみランチ			1日	BCP勉強会・訓練（災害・感染）						
9月	3日	クッキング									1日～	OT・PT見学実習受け入れ		
	15日	敬老会	15日	お楽しみランチ							12日	看護学生見学実習		
10月		天気の良い日	28日	外出訓練（ドライブ） お楽しみランチ		リハビリテーション研修会：渡邊 オンラインにて					21日	看護学生見学実習		
11月			28日	お楽しみランチ			12日	避難（防災）訓練			11日	看護学生見学実習		
12月	18日	忘年会（クッキング）	18日	お楽しみランチ	6日	スタッフ会議								
					15日	虐待防止勉強会								
1月			28日	お楽しみランチ	20日	感染対策委員								
2月	1日	節分			5. 16.	虐待勉強会								
	12日		26日	お楽しみランチ	17日									
3月			30日	お楽しみランチ	11日	スタッフ会議								

※その他として退院前カンファレンス参加、サービス担当者会議参加、居宅訪問（OT）は必要時実施。利用判定会議は新規利用予定に合わせて実施。

※年間通して感染予防対策実施。（終日マスク着用・手指消毒、必要に応じて検査キットでの確認）

※随時案内に合わせて研修参加。 ※外出訓練等実施（公園、市内巡り）

令和7年度事業報告書

特別養護老人ホーム八橋

1. 総括

施設目標

ご入居者様お一人ひとりの個性や生活のリズムに沿い
「まごころ」を込めてケアを行います。

令和7年度は労働力人口の減少が続く中で、介護人材の採用に苦慮した1年でした。特に、職業安定所、県社協人材紹介センターからの人材紹介は少なく、多くの施設では、有料職業紹介所に高額な紹介料を支払い、人材確保の苦労は続いております。

また、人口減少や物価の高騰が原因となり、施設運営上も一層厳しさが増えています。

秋田県では、クマの出没があいついでいることから、近隣では対策として、柿や栗の木を伐採し庭にライトを設置していました。施設でも、自動ドア（玄関）を手動にしたり、職員の出入り口を変えるなどの対策を講じております。

① 感染症について

コロナウイルス感染症は、8月下旬から9月上旬にかけて入居者1名・インフルエンザ感染症は、2月中旬から2月下旬にかけて入居者3名が感染し、それ以上他のフロアに感染を広げることなく終息しました。定期的に感染症委員会は、開催していたが、感染発生時には、多職種で会議を行い、現状を確認し、終息に向け対応を検討しました。

また、入居前の入居者にキットで検査を行い、感染症等防止策を実施しました。さらにBCP研修や防護服の着脱訓練を実施しました。特に通院や退院した入居者に対し、健康観察を行い、感染防止に努めました。

② 健康管理について

内科（嘱託医）、皮膚科、歯科等往診してもらい、入居者の健康管理を行いました。協力病院である中通総合病院の他、秋田県立循環器脳脊髄センターとも協力病院協定書を締結しました。循環器センターとは、月1回オンラインで定例会を実施し情報共有と連携を強化しました。

③ 苦情防止のための解決委員会について

日常のケアに関する意見・要望に誠意をもって対応するため、苦情防止解決委員会を開催して対応しました。大きな苦情が二つありました。入居者の看取りの情報の共有ができず、家族の意向に添った対応ができませんでした。

また、入居者の入れ歯（7 cm×2 cm）を入居者自らが飲み込んでしまったケースがあり、対応の難しさを学びました。入居者・家族の意見や要望等を傾聴し、施設での入居者の状態の日常的な変化を面会時や毎月のおたより等で詳細に伝えるようにしました。

④ 事故防止対策について

事故の委員会を定期的に行い、原因を確認し分析しました。情報を共有し、再発防止に努めました。事故の研修もeラーニング等で行い、研修の報告書も提出済みです。

⑤ 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について

虐待防止・身体拘束廃止委員会を定期的に行い、身体拘束廃止委員会に関しては、身体拘束を継続するかどうかの判断確認を行い、拘束廃止にむけて、職員同士の情報共有を行いました。さらに日常生活の観察を行い、身体拘束が適切なケアかどうか多職種でカンファレンスを行い、観察力の強化を図りました。

⑥ BCPについて

定期的な防災訓練を行い、防災の意識向上を図り、避難・通報の訓練を行いました。

また、前回の水害をうけて止水版を導入し、浸水被害にあわないように全職員に周知徹底を計りました。業者による消火設備点検を実施し、防火設備や避難経路の点検を行いました。

⑦ 稼働率について

入居者の稼働状況としては、年間総数は20,149名で1日平均55.2名。稼働率は92.0%介護度平均は3.5でした。これまでより稼働率が低迷してしまいました。

しかし、秋田市からの緊急入所や生活保護受給者の受け入れを行い、セーフティネットとしての役割を果たすことができました。

2. 入所者定員

入所	60名
年間入所者延べ数	20,149名

3. 利用日・利用時間

利用日	365日
利用時間	24時間

4. 職員体制・勤務体制等

【職員体制】

施設長	1名
介護員	32名
看護師	5名
作業療法士	1名
生活相談員	1名
介護支援専門員	1名
管理栄養士	1名
事務員	2名
嘱託医	1名

【勤務体制】

介護 早番7:00~16:00 遅番13:00~22:00 夜勤22:00~7:00
看護 早番7:30~16:30 日勤 8:30~17:30 遅番10:00~19:00

T

5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定
別紙のとおり

6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

土地（八橋イサノ1丁目 207-1、207-3、207-5、216）	45,525,162円
止水版	674,300円
居室用エアコン6台	1,673,100円
低床ベッド2台	495,000円
厨房ガス給湯器	220,000円
厨房用冷蔵庫	731,500円
電磁調理器	998,580円
ロボクープ（ミキサー）	291,500円

令和7年度年間行事等実施報告書

特別養護老人ホーム 八橋

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容		
4月		お花見（随時）		誕生会（随時）	月1	職員会議（第3週） チーフ会議 施設内勉強会（第3水）	23	防災訓練 消防設備点検 自然災害BCP 1回目				事故対策・排泄・感染予防・ 教育・給食・行事・身体拘束・ レクリエーション委員会
5月	11	ドライブ等（随時） 母の日、父の日		誕生会（随時）		”						”
6月		ドライブ等（随時）		誕生会（随時）		”			12	利用者 健康診断 （採血）55名		”
7月	7	七夕 ドライブ等（随時）		誕生会（随時）	1	感染症BCP 1回目 施設での事故防止について						
8月		ドライブ等（随時）		誕生会（随時）	1～	感染症BCP 1回目 施設での事故について						
9月	24	敬老会・夏祭り		誕生会（随時）		身体拘束 1回目 高齢者虐待 1回目			3	インフルエンザ 予防注射 接種者確認		”
10月	9	きりたんぼ鍋		誕生会（随時）		身体拘束 1回目 高齢者虐待 1回目	29	防災訓練（夜間） 消防設備点検	14	結核検診 55名		”
11月				誕生会（随時）	1～	事故発生又は再発防 止に関する研修 1回目 自然災害BCP 2回目			6	インフルエンザ 予防注射 51名		”
12月	24	クリスマス		誕生会（随時） 正月の飾りつけ	1～	身体拘束2回目 ハラスメント						”
1月				誕生会（随時）		事故発生又は再発防止 に関する研修2回目 高齢者虐待 2回目						”
2月	3	節分		誕生会（随時）	1～					コロナワクチン接種29名		”
3月	3	ひなまつり		誕生会（随時）	1～	認知症に関する研修 BCP感染症研修・訓練2回目			13	肺炎球菌（随時） コロナワクチン接種25名		”

令和7年度事業報告書

グループホーム さくら

1. 総括

法人目標である『ご利用者一人ひとりの個性と価値観を尊重し、温かな福祉サービスを提供します』について、“その人らしさ”に重点を置くグループホームにはとても共感しやすく、取り組みやすい目標でした。ご利用者一人ひとりを理解するために日々の様子を見聞きし情報を得ること、その方のペースやこだわりを尊重すること、その方の想いに寄り添い共感し、安心して過ごせる環境を整えること、それらをチームとして取り組むことなど、まさに認知症ケアとして目指すものであり日頃から意識しているところでした。しかし、認知症ケアには明確な正解がなく、スタッフそれぞれの視点や価値観が入り込みやすいため、毎月のカンファレンスでご利用者一人ひとりについての情報を共有し、一步でもその方の想いに近付いていきたいと話し合いと実践を重ねました。

また、余裕がない時には、どうしてもスタッフ主体の声掛けや時間軸になりがちなので、チーム間でお互いをフォローし合い、スタッフ自身が少しでも時間と心にゆとりを持てるように努めてまいりました。

事業所目標である、『ご利用者一人一人に寄り添い、その方の想いを尊重し、誰もが自分らしく心地よく安心して暮らすことができるよう支援する。個別ケアの達成度80%を目指す』について、スタッフそれぞれがその方を知ろうと努め、知り得た情報を共有し、チームとして取り組むことができていると思えます。

7年度の稼働率は99.7%で、前年度より0.9%アップいたしました。平均介護度は2.3、平均年齢は91.5歳、最高齢の入居者が102歳で90歳以上の方が15名となりました。前年度に引き続き、高齢であってもお元気な方が多いグループホームではありますが、1年ごとに体調の急変が見られるようになってきました。

今年度は救急搬送事案が10件と多くありました。内訳としては、転倒によるものが2件、体調不良によるものが8件でした。体調の急変に関しては、職員がご入居者の様子を見て「何かがおかしい」と異変に気づきスムーズに救急受診へ繋げることができ、日頃の観察の重要性を職員全員で再確認いたしました。客観的な視点で改めて入居者の状態を把握しながら、事故を最小限に抑え安全に過ごしていただくため、リスク委員会を中心に全職員で介護事故について改めて深く考え、一つひとつの確認作業を大切に、気を引き締めてケアに当たるようにいたしました。

最後に感染症関連ですが、職員や職員家族の感染罹患、急な体調不良等が頻繁にありましたが、グループホームのご入居者への感染蔓延等は一度もなく過ごしていただけたことは非常に良かったと思っております。罹患した職員の休暇取得のため、勤務変更を頻回にして出勤できる職員の確保を行い、それには職員全員がホーム内にウィルスを持ち込まないよう協力し合って、それがご入居者への感染を防げた要因でもあると思えます。

次年度は今年度よりもう一段行動の幅を広げながら、ご入居者・ご家族にとって『ここが良い』と思っただけのグループホームを目指して参ります。

2. 入居者数	
定員	18人
年間入居者延べ数	6,549人
1日平均利用者数	17.9人

3. 利用日・利用時間	
利用者	365日
利用時間	24時間

4. 職員体制・勤務体制等

【職員体制】

管理者	1名
計画作成担当者（非常勤）	1名
計画作成担当者兼チーフ兼介護員	1名
ユニットチーフ兼介護員	1名
介護員（A棟5名、B棟6名）	11名

【勤務体制】

早番	7:00～16:00
日勤	8:30～17:30
遅番	11:00～20:00
夜勤	17:00～9:00

※日中、1ユニット9名の入居者に対し3名以上の職員配置
夜間、9名の入居者に対し各棟1名ずつの夜勤職員配置

5. 年間行事実施内容

別紙のとおり

6. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

7. その他（建物改修、設備、備品等購入）

B棟洗面カウンター小型電気温水器 167,972円

令和7年度行事等実施報告書

グループホーム さくら

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等	災 害 訓 練	健 康・衛 生 管 理	実 習・見 学 他
	内 容 (随 時 開 催)		内 容	内 容	内 容	内 容
4月	3	ご利用者誕生会 (A棟 2名)	3 誕生会 (A) 2名	1 朝礼	2 消防設備点検	21 運営推進会議
	4	買い物同行 (A棟 1名)	18 誕生会 (A)	4 クロッセ秋田介護相談	25 BCP感染訓練	
	6	個別レク：外出～ブルーメッセ (A棟 1名)	20 誕生会 (B)	14 ワイズマン説明		
	11	ドライブ：菅原神社 (A棟 2名)		17 経営会議 (感染疑いの為欠席)		
	12	個別レク：買い物 (A棟 1名)		24 リスク委員会		
	13	個別レク：美容院 (B棟 1名)		24 栄養指導 (桜の園より)		
	18	ご利用者誕生会 (A棟 1名)		25 A棟カンファレンス		
	19	個別レク：お花見ドライブ～八橋 (A棟 1名)		26 虐待・ハラスメント・BCP研修		
	20	ご利用者誕生会 (B棟 1名)		28 ケアパートナーズ理事会		
	21	お花見ドライブ：一つ森公園～御所野 (B棟 3名)		30 B棟カンファレンス		
	22	お花見ドライブ・外気浴：一つ森公園 (A棟 2名)		(感染疑いの為中止)		
	22	買い物同行 (B棟 1名)				
	22	お花見ドライブ：一つ森公園～御所野 (B棟 3名)				
	23	ホットケーキ作り (A棟)				
	23	お花見イベント (B棟)				
	24	お花見イベント (A棟)				
	26	お花見ドライブ・外気浴 (A棟 2名)		15 ※シエンタ入れ替え		
	27	お花見ドライブ・外気浴 (A棟 2名)				
	28	買い物同行 (A棟 1名)				
	5月	3	買い物同行 (A棟 1名)		1 朝礼	
4		買い物同行 (A棟 1名)		1 ワイズマン説明		
5		個別レク：買い物 (B棟 1名)		2 くもん訪問指導		
8		個別レク：美容院 (A棟 1名)		9 クロッセ秋田介護相談		
9		買い物同行 (A棟 1名)		15 経営会議		
11		母の日イベント (A棟・B棟)		16 B棟カンファレンス		
12		買い物同行 (B棟 1名)		20 第1回認知症実践者研修①		
14		個別レク：買い物 (B棟 1名)		21 第1回認知症実践者研修②		
14		ドライブ・外気浴：御所野公園 (B棟 3名)		22 A棟カンファレンス		
15		個別レク：買い物 (B棟 1名)		23 情報共有システム災害時訓練		
15		ホットケーキづくり (B棟)		25 感染委員会		
16		個別レク：買い物 (B棟 1名)		27 リスク委員会		
16		個別レク：ドライブ (B棟 1名)		29 栄養指導 (桜の園より)		
17	買い物同行 (A棟 1名)		29 認知症チームケア推進研修 (オンライン)			
19	ドライブ：ご自宅～一つ森公園 (B棟 2名)		30 ケアパートナーズ総会・研修会			
19	ドライブ・外気浴：千秋公園 (A棟 2名)					
20	個別レク：買い物 (B棟 1名)					

	23	ドライブ：手形たい焼き屋～ナイス（B棟3名）								
	23	個別レク：買い物（B棟1名）								
	23	買い物同行（A棟1名）								
	24	個別レク：買い物・ドライブ（B棟1名）								
	28	個別レク：外出～セリオン（B棟1名）								
	29	ドライブ：ナイス～大平台（A棟4名）								
6月	6	個別レク：ドライブ（B棟1名）		1	朝礼	12	避難訓練 (夜間想定)	職員健康診断 (夜勤者)	23	運営推進会議
	6	個別レク：美容院（A棟1名）		2	ワイズマン説明	15	B C P感染訓練			
	7	買い物同行（A棟1名）		11	第1回認知症実践者研修③					
	9	外出：たわらや内科ガーデン鑑賞（A棟2名）		12	第1回認知症実践者研修④					
	13	個別レク：外出～秋田駅（A棟1名）		17	B棟カンファレンス					
	17	個別レク：買い物（B棟1名）		18	リスク委員会					
	17	個別レク：買い物（B棟1名）		19	経営会議					
	19	買い物同行（A棟1名）		20	ケアパートナーズ理事会					
	21	買い物同行（A棟1名）		23	管理者・チーフカンファレンス					
	24	個別レク：買い物（B棟1名）		24	A棟カンファレンス					
	26	お好み焼きづくり（A棟）		26	栄養指導（桜の園より）					
	27	買い物同行（A棟1名）		27	クロッセ秋田介護相談					
	28	買い物同行（A棟1名）		27	メンタル不調「ラインケア研修」 (オンライン)					
				30	ワイズマン説明					
				30	第1回認知症実践者研修・中間報告					
7月	3	個別レク：買い物（A棟1名）	19	誕生会（B）	8	クロッセ秋田介護相談				
	4	個別レク：買い物（A棟1名）			12	生産性向上セミナー（欠員の為中止）				
	6	買い物同行（A棟1名）			17	経営会議（欠員の為欠席）				
	7	七夕イベント（A棟・B棟）			21	リスク委員会				
	9	個別レク：ドライブ（A棟1名）			22	クロッセ秋田介護相談（欠員の為欠席）				
	9	個別レク：ドライブ（B棟1名）			27	B棟カンファレンス				
	14	個別レク：買い物（A棟1名）			27	A棟カンファレンス				
	16	個別レク：時計修理、ドライブ（A棟1名）			29	ケアパートナーズ研修会 (認知症・接遇マナー)				
	18	買い物同行（A棟1名）			30	ワイズマン説明（欠員の為延期）				
	18	個別レク：買い物（A棟1名）			31	栄養指導（桜の園より）				
	19	ご利用者誕生会（B棟1名）								
	22	かき氷レク（A棟）								
	24	夏まつり（A棟・B棟 ※一部合同）								
8月	1	個別レク：美容院（B棟1名）	18	誕生会（B）	1	生産性向上セミナー（アーカイブ視聴）			25	運営推進会議
	4	竿燈観覧～桜の園（A棟3名、B棟3名）			1	第49回なんげアの会				
	13	個別レク：買い物（B棟1名）			6	第1回認知症実践者研修・報告会				
	18	ご利用者誕生会（B棟1名）			8	クロッセ秋田介護相談				
	26	個別レク：美容院（A棟1名）			14	B C P委員会				
	26	スイカ割り大会（両棟合同）			19	栄養指導（桜の園より）（中止）				
					21	経営会議（中止）				

				※研修会のみ参加				
12月	3 5 15 19 24 25 28	個別ケア：美容院（A棟1名） 個別レク：外出～時計修理（A棟1名） ご利用者誕生会（B棟1名） 個別レク：買い物（B棟1名） クリスマス・忘年会（A棟・B棟 ※一部合同） ご利用者誕生会（B棟1名） もちつき大会	15 誕生会（B棟）	5 9 9 16 18 19 22 23 23 25 30	栄養指導（桜の園） クロッセ秋田介護相談 認知症介護リーダー研修・報告会 B棟カンファレンス 経営会議 クロッセ秋田介護相談 管理者・チーフミーティング A棟カンファレンス ケアパートナーズ理事会 感染委員会 リスク委員会			22 運営推進会議
1月	1 2 8 10 18 21 24 28	お正月イベント（A棟・B棟） ご利用者誕生会（B棟1名） 初詣：三皇熊野神社（A棟2名） 初詣：三皇熊野神社（A棟1名） 初詣：三皇熊野神社（B棟2名） 個別レク：美容院（A棟1名） ご利用者誕生会（A棟1名） 個別レク：美容院（B棟1名）	2 24 誕生会（B） 誕生会（A）	6 15 20 21 25 28 28 30	クロッセ秋田介護相談 経営会議 ケアパートナーズ研修会 栄養指導（桜の園） リスク委員会 A棟カンファレンス BCP委員会 B棟カンファレンス		31 避難訓練 （夜間想定）	
2月	3 4 8 9 11 14 18	節分イベント（A棟・B棟） 個別レク：美容院（A棟1名） 個別レク：買い物（A棟1名） ホットケーキづくり（A棟） 初詣：三皇熊野神社（A棟2名・B棟2名） バレンタインデーイベント（A棟・B棟） ご利用者誕生会（B棟1名）	18 誕生会（B）	6 17 18 19 20 23 27	クロッセ秋田介護相談 ケアパートナーズ理事会 栄養指導（桜の園） 経営会議（中止） A棟カンファレンス B棟カンファレンス リスク委員会			16 運営推進会議
3月	1 3 5 17 17 19 20 24 28	個別レク：買い物～しまむら（B棟1名） ひな祭りイベント（A棟・B棟） ご利用者誕生会（B棟2名） 個別レク：ドライブ～ケーキ取り（A棟1名） ご利用者誕生会（A棟1名） あんこもち作り（B棟） おはぎ作り（B棟） 個別レク：ドライブ・外出～菅原神社（A棟1名） ドライブ・外出：菅原神社（B棟3名）	5 17 誕生会（B）2名 誕生会（A）	6 18 19 20 23 25 25 26 27	クロッセ秋田介護相談（欠席） ケアパートナーズ研修会 経営会議（欠席） リスク委員会 B棟カンファレンス ざっくばらん会（旭川包括） 感染委員会 栄養指導（桜の園） A棟カンファレンス	11 BCP災害訓練 （停電時）		

令和7年度事業報告書

小規模多機能型居宅介護 幸の家

1. 総括

本年度は、複数名の退職および新規採用により、人員体制の変動が大きい一年となりました。退職者の有給休暇取得や急な欠員により、一時的に人手不足が生じる場面もありましたが、職員間の協力体制により、ご利用者や業務への大きな影響はなく、円滑な運営を維持することができました。また、新人職員の採用により、幸の家全体の雰囲気や職員の意識に前向きな変化が見られ、ご利用者からの評価向上にもつながっております。中には早期に戦力化した職員もおり、幸の家全体の底上げが図られました。一方で、指導者不在時における新人職員の対応の不安定さや、指導に注力するあまり既存職員のモチベーション低下への対応が遅れるなど、管理面での課題も明らかとなりました。さらに、人員変動や感染症対応、突発的なトラブルなど多くの課題に直面しましたが、職員同士の連携により大きな事故なく運営を継続することができました。これらの経験を通じて、職員一人ひとりの対応力・判断力が向上し、幸の家としての成長も実感しております。今後は、指導体制のさらなる強化および情報共有の徹底を図り、より質の高いサービス提供と安定した運営の実現に努めてまいります。稼働率については、継続的な営業活動の成果により、今年度の稼働率 92.2%と前年度(84.2%)から大きく向上しました。目標値には届かなかったものの、改善が見られております。今後も迅速な対応と関係機関との連携強化により、稼働率向上に努めてまいります。

2. 年間入所者(利用者)数

月平均登録者数	26.75人
登録率	92.21%
平均介護度	1.85
通い1日平均	11.76名
訪問1日平均	8.42名
宿泊1日平均	7.12名
夜間訪問回数	2回

3. 利用日・利用時間

利用日	365日
利用時間	24時間

4. 職員体制・勤務体制等

【職員体制】

管理者	1名
副管理者（看護師兼務）	1名
介護支援専門員	1名
介護員	9名
調理員	2名
※看護師・介護員以外全職種介護員兼務	

【勤務体制】

日勤	8：30～17：30
早番	6：30～15：30
遅番	11：00～20：00
夜勤	17：00～ 9：00
夜間自宅待機	

5. 年間行事実施内容

別紙のとおり

6. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

7. その他（建物改修、設備、備品等購入）

2F居室電気温水器1台	230,000円
事務室PC2台	512,200円

10月	2 17 18 25 30	ドライブ 運動会 橋山コミセン祭り 紅葉ドライブ だまご鍋作り にぎわい交流館 生け花展			16 20 22 ※オンライン研修	経営会議 探してネットワーク (東警察署) 幸の家会議・勉強会 (BCP感染症)			感染症予防強化月間	6 17 22 ※聖霊学園高校 聖母会より 季節の創作作品頂きました	シニアサポートセンター桜 (相談業務) 感染対策委員会
11月	1 2 3 10 17	寿司の日 にぎわい交流館 生け花展 手作りおやつ (ホットケーキ) 誕生会 誕生会			11 20 24 ※オンライン研修	セスタ (福祉用具) 経営会議 幸の家会議・勉強会 (認知症ケア)			感染症予防強化月間	7 18 ※聖霊学園高校 聖母会より 季節の創作作品頂きました	シニアサポートセンター桜 (相談業務) ※聖霊学園高校 聖母会より 季節の創作作品頂きました
12月	15 21 24 31	誕生会 創作 (クリスマスリース) クリスマス会 年越しそば			18 20 ※オンライン研修	経営会議 幸の家会議・勉強会 (身体拘束・虐待)			感染症予防強化月間 職員健康診断	8 16 9 17 29	シニアサポートセンター桜 (相談業務) 消防立ち入り調査 (城東消防 運営推進会議 身体拘束適正化・虐待防止委員会 ※聖霊学園高校 聖母会より 季節の創作作品頂きました
1月	1 3 6 7 11	初詣 (三皇熊野神社) おせち料理 書初め 手作りおやつ (お好み焼き) 七草粥 鏡開き	22	手作りおやつ (芋もち)	15 26 ※オンライン研修	経営会議 幸の家会議・勉強会 (消防総合訓練)・(食品衛生) (消防設備士立ち合い)	26	消防総合避難訓練	感染症予防強化月間	8 26	シニアサポートセンター桜 (相談業務) 運営推進会議 ※聖霊学園高校 聖母会より 季節の創作作品頂きました。
2月	2 14 15	節分 バレンタイン 映画観賞会			24 ※オンライン研修	スタッフ会議 勉強会 リスクマネジメント (介護現場)			感染症予防強化月間	5 16	シニアサポートセンター桜 (相談業務) かがやき協議会 ※聖霊学園高校 聖母会より 季節の創作作品頂きました。
3月	3 10 20 23	ひな祭り会 誕生会 誕生会 手作りおやつ (おはぎ)			19 30 ※オンライン研修 (1年間) 15名参加 達成率93.3%	経営会議 スタッフ会議・勉強会 接遇・虐待行為や不適切ケア			感染症予防強化月間	24 30 31	シニアサポートセンター桜 (相談業務) 運営推進会議 身体拘束適正化・虐待防止委員会 ※聖霊学園高校 聖母会より 季節の創作作品頂きました。

令和7年度事業報告書

訪問看護ステーション 幸

1. 総括

事業所目標：新規相談件数を年間36件目指す

➤今までの実績やスキルを活かしながら利用者数の確保をしていき、利用者数が増加、定着できるよう個々が個別性を重んじて丁寧なケアを意識し安定的な経営を目指すため。

①新規利用者獲得する為に訪問枠が無い時以外は引き続き受け入れできるよう調整し、真摯に対応する事で居宅や各医療機関の連携室との信頼関係を構築していく。

⇒介入直前に入院や介入前に利用者が不要とお断りをしてきた以外は基本的にすべての依頼は受け入れをした。そのかいもあり、相談件数年間58件と目標の36件を大幅に上回る事となった。

②連休中も勤務調整しながらできる限り訪問対応する。

⇒年末年始、連休などスタッフが交代で出勤し訪問対応をしてご利用者に迷惑をかけることなく業務遂行できた。

③事業継続できるように気を緩めることなく引き続き感染対策に取り組み、業務が滞らないようにする。

⇒ご利用者、スタッフ、スタッフ家族がインフルエンザに罹患しても感染拡大することなく通常どおり事業が継続できた。

④職員が研修を受けることで自己研鑽に励む事ができ、都度ミーティングを行い情報共有することで各職員が目標を意識し質の高い看護を提供する事ができる。

⇒必ず全員には1回以上研修を受けさせており自己研鑽に励んでもらった。以前よりも積極的に研修を受講している。

2. 利用者定員

登録者	3月末現在	95名
内訳	看護	74名
	リハビリ	21名

3. 利用日・利用時間

利用日 月曜日～金曜日 (祝日、12月29日から1月3日を除く)

利用時間 8:30～17:30

24時間対応体制

4. 職員体制・勤務体制等

管理者兼看護師	1名
看護師	6名 (うちパート1名、育休中1名)
作業療法士	2名 (うち副管理者1名)
理学療法士	1名

5. 年間行事、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定

【外部研修】 新人向け：訪問看護基礎講座、訪問看護e-ラーニング

加算要件：精神障害者の在宅看護セミナー

その他：神経難病、退院調整、管理者セミナー、看取り等

※外部研修は新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて参加

※一部別紙のとおり

ST内勉強会 認知症、看取り、救命救急、感染対策などを予定

BCPに沿って訓練をおこなう

6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

【書籍】

訪問看護業務の手引き

訪問看護関連報酬・請求ガイド

訪問看護と介護

令和7年度年間行事等実施報告書

訪問看護ステーション 幸

項目 月	行 事				職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月						スタッフ会議 ST内勉強会						
5月						スタッフ会議						
6月						スタッフ会議 ST内勉強会						
7月						スタッフ会議						
8月						スタッフ会議 ST内勉強会						
9月						スタッフ会議 ST内勉強会		防災訓練				
10月		看護学生実習（日赤）				スタッフ会議 ST内勉強会						
11月		看護学生実習（日赤）				スタッフ会議				インフルエンザ 予防接種		
12月						スタッフ会議 ST内勉強会				職員健康診断		
1月						スタッフ会議						
2月						スタッフ会議 ST内勉強会						
3月						スタッフ会議 ST内勉強会		防災訓練				

令和 7 年度事業報告書

桜の園居宅介護支援事業所

1. 総括

令和 7 年度は、クマ出沒により、ご利用者への訪問の恐怖が増しました。対策についても訓練や話し合いを行いました。BCP・虐待と身体拘束・感染予防の研修や訓練と委員会も実施しました。特定事業所加算算定に関わる週 1 回の勉強会と他法人居宅との勉強会実施や困難事例対応の為の研修参加も行っています。

特別養護老人ホームや有料老人ホームの空床が多くなり、入所待ちの期間が短いため、ご利用者の施設入所による契約終了が増加しました。退院調整から新規受け入れをしてもすぐに施設へというケースや、支援してみると施設や小規模多機能型の対象者という場合もあり支援に結びつかず終了というケースもありました。

また、パーソナル障害と認知症の進行によって精神科病院への入院が多くあったと感じます。

65 歳未満の第 2 号被保険者として介護保険をご利用になる方が生活保護受給者でもあり、生活保護課と介護保険課とのやり取りに時間を要するケースがありました。介護力低下や経済面で苦慮する困難ケースもあり、金銭的問題に関わらないようにしたいが、サービス事業所からの話をご家族に伝えなければならない立場になる場合もあるため、担当ケアマネは包括にも相談し対応しています。

全体の件数は増減を繰り返し、1 年間で 20 名程増加しました。新規は断らないようにしつつ、居宅対応ではない依頼は見極めたいと思います。生産性の向上およびケアプランデータ連携システムの活用に向けて始動し、効率的な仕事によって丁寧な支援を今後も続けて行きます。

2. 利用者数（ケアプラン数）

次ページのとおり

3. 営業時間

月曜日～日曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分

休業日 12 月 29 日～1 月 3 日

※電話対応により 24 時間 365 日連絡が可能

4. 職員体制

管理者（介護支援専門員兼務）	1 名（常勤）
主任介護支援専門員	2 名（常勤）
介護支援専門員	5 名（うち非常勤 1 名）

5. 研修報告

- 4月12日 新採用者に対するBCP研修
- 4月26日 BCP・虐待・身体拘束研修1回目
- 5月8日 BCP・虐待・身体拘束研修2回目
- 6月8日 BCP居宅内研修・虐待防止居宅内研修・感染対策居宅内研修
- 6月11日 他法人居宅との合同勉強会
- 7月15日 パナソニック主催福祉用具研修
- 7月18日 南圏域包括主催研修
- 7月16日～18日 介護支援専門員更新研修(1名)
- 8月28日 BCP居宅内訓練
- 9月3日～5日と16日～18日 主任介護支援専門員更新研修(1名)
- 9月19日 東圏域ケアマネ等合同研修会
- 10月20日 東圏域包括と東警察署主催研修
- 10月23日 県リハ主催(認知症ケアシリーズ)
- 10月23日 集団指導(書面開催)
- 11月6日 感染症対策居宅内訓練
- 11月7日 他法人居宅との合同勉強会
- 11月18日 保険者主催包括居宅集団説明会
- 11月27日 地域定着支援センター主催研修会
- 12月12日 包括在介研修会(地域共生社会と認知症)
- 12月12日 長寿社会開発センター主催(生活困窮者)
- 2月17日 ケアプランレーター連携システム研修
- 3月20日 秋田県医療連携ネットワーク研修

委員会

- 6月8日 虐待防止委員会 感染対策委員会
- 11月6日 感染対策委員会

その他

- 8月6日 日赤看護大学のR7年度実習会議
- 9月 認定調査受託(秋田市)
- 10月2日30日 日赤看護大学生3名実習対応
- 11月 認定調査受託(藤里町)
- 11月21日27日 日赤看護大学生2名実習対応
- 12月 職員健康診断(全員)
- 1月27日 情報公表訪問調査
- 1月23日30日 介護支援専門員実務者研修実習生受入
- 2月6日 介護支援専門員実務者研修実習生受入

月別総プラン数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介1	69	73	76	71	72	73	70	70	69	69	72	68
介2	37	43	39	40	38	37	42	41	38	40	43	49
介3	25	26	22	22	20	23	27	28	27	26	30	31
介4	14	18	20	19	17	18	19	19	18	16	12	12
介5	6	6	6	4	4	6	6	6	6	4	4	4
総数	151	166	163	156	151	157	164	164	158	155	161	164
予防	58	60	59	60	59	62	60	59	63	61	63	69

年間総プラン数

要介護1	852	要支援	733
要介護2	487		
要介護3	307		
要介護4	202		
要介護5	62		
総プラン数	1910		

平均介護度 2

業務実績

訪問件数	4239	モニタリング	2712	サービス担当者会議	438
------	------	--------	------	-----------	-----

令和7年度事業報告書

広面地域包括支援センター桜の園

	件数・回数等	内訳等
総合相談	1093件 (延べ数)	介護保険に関すること 400件 保健・福祉サービスに関すること 133件 認知症に関すること 72件 医療に関すること 84件 その他 404件
予防プラン数	2929件 (延べ数)	包括 962件 委託 1967件
申請件数	315件 (実数)	要介護・要支援認定申請代行 231件 通所型・訪問型介護予防事業 6件 食の自立支援事業 43件 雪よせ支援事業 16件 緊急通報システム事業 16件 認知症事前登録事業 3件
虐待対応	通報 9 件	虐待認定に至らず 7 件 虐待認定 2 件
権利擁護	91件 (延べ数)	日常生活自立支援事業に関する支援 金銭管理に関する支援 重層的課題を抱える世帯への支援 成年後見制度に関すること 身元保証制度に関すること
地域ケア会議	5回	地域ケアネットワーク会議 2回 地域ケア会議 (個別2回、地域課題1回)
地域連携・多職種連携	86回	ケアマネサロン 12回 地域密着型事業所運営推進会議 広面、東、桜地区民児協 ケアマネ交流 民児協定例会にて事例紹介(中通地区・広面地区) けあカフェ(家族介護者の集いの場) 東圏域ケアマネジャー等合同研修会 出前包括(スーパーにて4か所、さくら温泉1回) 初期集中支援チーム利用 【一般介護予防事業】 はっぴいクラブ(毎月1回) はつらつ東部(毎月1回) ちょこっとゆるり(コグニサイズ、毎月1回) エンジョイ企画(みずのごはん会、九十のつどい)
研修会開催	2回	東圏域ケアマネ合同研修 1回 東圏域生活支援体制整備事業 防災研修 1回

令和7年度事業報告書

中通地域包括支援センター幸ザ・サロン

	件数・人数等(延べ)	内訳等
総合相談	1354件	介護保険に関すること684件 保険・福祉サービスに関すること166件 認知症に関すること66件 医療に関すること86件 その他352件
予防プラン数	2107件	包括 867件 委託 1240件
申請件数	299件	要介護・要支援認定 230件 通所型介護予防事業 6件 訪問型介護予防事業 6件 食の自立支援事業 24件 雪よせ支援事業 26件 緊急通報システム貸与事業 5件 認知症等高齢者事前登録事業 2件
虐待対応	通報4件	虐待認定に至らず 2件 虐待認定 2件
権利擁護	16件	支援困難ケース、金銭管理、認知症夫婦支援 不動産処分、精神疾患、成年後見制度利用支援 保佐人に関する事、家族代行支援、医療の同意 虐待、身元保証に関する事、死後事務
地域ケア会議	7回	地域ケアネットワーク会議 2回 個別ケア会議4回、地域課題会議1回
地域連携・多職種連携	75回	高齢者生活支援体制整備第2層協議会 (おでかけサポート立ち上げ・支援開始) 民生児童委員協議会 地域密着型事業所運営推進会議 認知症疾患医療連携協議会 認知症施策検討委員会 認知症施策対策推進ネットワーク会議 各職種情報交換会、連絡会 お茶っこサロン、金融機関での移動包括 探してネットワーク会議(中央署・東警察署) 商業施設との合同イベント 医療機関とのカンファレンス
研修会開催	14回	ケアマネサロン 5回 中央圏域合同研修会 1回 中央圏域保健師看護師研修会 1回 中通圏域事業所合同研修会1回 住民向け研修会6回
認知症サポーター養成講座	6回	秋田社会福祉専門学校 夏休み親子向けイベント中 秋田美容室グループRBアドバンス 市民向けイベント中 秋田北高等学校
介護予防自主サロン	138回	<自主活動> 3B体操 29回 くつろぎカフェ19回 サムライ倶楽部20回 ミモザ健康教室20回 あおぞら会18回 はつら2くらぶ21回 姫くらぶ11回
認知症関連	27回	認知症カフェ桜サロン12回 ケアマフの会「カミツレ」15回
サロン利用	179回 1303名(延べ)	認知症カフェ桜サロン9回、Dカフェ5回 ケアマフの会「カミツレ」4回

令和7年度事業報告附属明細書

社会福祉法人桜丘会

1. 特別養護老人ホーム八橋の賃借土地の一部を購入

賃貸人 石上 様

購入土地所在 秋田市八橋イサノ一丁目

宅地	207 番 1	496.09 m ²
公衆用道路	207 番 3	37 m ²
宅地	207 番 5	381.27 m ²
宅地	216 番	36.18 m ²

購入額 45,525,162 円

借入先 秋田銀行 桜支店

借入金額 45,000,000 円

返済期間 10 年 (375,000 円/月×120 回)

担保物件 特別養護老人ホーム八橋の土地・建物 (以下の通り)

・建物 秋田市八橋イサノ一丁目 196 番地 1、197 番地 1、207 番地 5
所在の鉄筋コンクリート造陸屋根 4 階建 1 棟 (3353.78 m²)

・土地 (敷地 8 筆)

秋田市八橋イサノ一丁目	195 番 1	135.60 m ²
秋田市八橋イサノ一丁目	206 番 1	132.59 m ²
秋田市八橋イサノ一丁目	206 番 5	383.33 m ²
秋田市八橋イサノ一丁目	207 番 1	496.09 m ²
秋田市八橋イサノ一丁目	207 番 3	37 m ²
秋田市八橋イサノ一丁目	207 番 5	381.27 m ²
秋田市八橋イサノ一丁目	216 番	36.18 m ²
秋田市八橋イサノ一丁目	217 番	36.09 m ²

※土地購入の借入に伴う担保提供の件で、理事会の承認を経たが評議員会と秋田市長の承認受けずに秋田銀行に担保提供をしたことを顛末書にて謝罪をし、最初から手順どおりの会議を開き秋田市長に承認をいただく。

2. 定款変更

定款第 30 条 (2) 土地 (ハ) へ特養八橋の購入した土地 4 筆追加

令和7年度事業所別延べ利用者数

(単位:人、%)

事業所名		7年度	6年度	増減	7年度稼働率	平均介護度	
						7年度	6年度
介護老人保健施設 桜の園	入所	34,811	35,136	▲325	95.4	3.5	3.4
	通所	10,192	9,122	1,070	82.4	1.9	1.8
	訪問リハ	24	24	0	—	3.5	3.1
特別養護老人ホーム 八橋	入所	20,149	21,001	▲852	92.0	3.5	3.5
グループホーム さくら	A棟	3,265	3,235	30	99.4	2.3	2.2
	B棟	3,284	3,260	24	99.9		
	計	6,549	6,495	54	99.7		
小規模多機能型居宅介護 幸の家	通い	4,314	4,320	▲6	65.6	1.8	2.1
	訪問	3,439	3,846	▲407	—		
	泊まり	2,607	2,430	177	89.3		
	登録者	9,694	8,928	766	91.6		

令和7年度事業所別利用件数

(単位:人、%)

事業所名		7年度	6年度	増減	要介護別 プラン数	平均介護度		
						7年度	6年度	
広面地域包括 支援センター 桜の園	相談 件数	1,093	1,285	▲192	—	—	—	
	予防 プラン	2,929	2,955	▲26	—			
	はつらつク ラブ参加数 延数	—	—	—	—			
中通地域包括 支援センター 幸ザ・サロン	相談 件数	1,354	1,387	▲33	—	—	—	
	予防 プラン	2,107	2,105	2	—			
	はつらつク ラブ参加数 延数	—	—	—	—			
桜の園 居宅介 護支援事業所	要介護	1,910	1,870	40	要介護プラン数		2.0	2.0
					1	852		
	要支援	733	610	123	2	487		
	訪問 件数	4,239	4,069	170	3	307		
	サービス担 当者会議	438	388	50	4	202		
モニタリ ング	2,712	2,493	219	5	62			
訪問看護 ステーション 幸	訪看・医	1,083	883	200	—	1.8	2.0	
	訪看・介	2,487	2,132	355	—			
	訪リハビ リ・医療	782	868	▲86	—			
	訪リハビ リ・介護	1,542	1,334	208	—			